

今後のPCB廃棄物処理量について

資料4別紙

項目	単位	R3年度 までの 処理量	R4年度 以降の 処理対 象数量	処理計画				過去の実績 最大値	備考	
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
1. 北九州事業所				事業終了準備期間						
安定器及び汚染物等	トン	9,201	1,196	780	416			1,420(R3)	・R4以降の処理対象数量には、今後の掘り起こし見込み量310トンを含む	
安定器(缶重量なし)	トン	8,465	(986)	(631)	(355)					
安定器(個数)	千個	2,596	(352)	(225)	(127)					
2. 大阪事業所				事業終了準備期間						
変圧器類									・R4.12末時点における登録台数をもとに処理対象量を算定。	
大型変圧器(2.5トン以上)	台	298	0(完了)					404(H21)		
小型変圧器(2.5トン未満)	台	2,355	2	2						
車載変圧器	台	93	0(完了)							
車載変圧器(豊田分)	台	30	0(完了)							
変圧器類(北九州分) ☆	台		1	1						
コンデンサー類										
コンデンサー	台	84,063	157	157				8,636(H25)		
特殊コンデンサー(北海道分)	台	70	0(完了)							
特殊コンデンサー(豊田分)	台	123	0(完了)							
その他									・ドラム缶165本	
PCB油	本	2,607	427	262	165			425(R2)		
PCB油(北九州分) ☆	本		34	34						
3. 豊田事業所				計画的処理完了期限				事業終了準備期間		
変圧器類	台	2,470	3	3				304(H20)	・事業終了準備期間はR7年度末であるが、R5年度末までに処理を終了。 ・R4以降の処理対象数量はR4.4～12の実績にR5.1以降の処理計画量を加えた値。また、R5.1以降の予測新規登録数を含む。 ・北九州分については、R4.12月末時点における登録台数を基に計画を策定。R4年度の値は実績値であり、残りをR5に処理するとしている。	
コンデンサー類	台	77,219	767	767				8,404(H29)		
コンデンサー類(北九州分) ☆	台		410	262	148					
PCB油類	本	2,025	148	148				426(R3)		
保管容器	箱	3,151	46	46				603(R1)		
4. 東京事業所				計画的処理完了期限				事業終了準備期間		
変圧器類	台	3,731	2	2					・R4登録済み未処理台数29台。 ・R4.4～R5.2にコンデンサーについて518台の新規登録があったことから、ひと月あたり47台(年間564台)の新規登録があると想定。	
変圧器類(北海道分)	台	5	0(完了)					512(H25)		
変圧器類(豊田分)	台	30	0(完了)							
コンデンサー類										
超大型コンデンサー(200kg超)	台	483	4	4	0					
大型コンデンサー(20kg超200kg以下)	台	64,603	1,620	1,373	247			7,851(H30)		
小型コンデンサー(20kg以下)	台	9,331	372	267	105					
超小型(3kg以上10kg未満)	台	8,074	640	399	241					
極小型(3kg以下)	台	12	1	1						
PCB油(リンを含まない)	トン	78	1.6	1.6	0.01			190.5(R3)		
リン含有PCB油	トン	282	0.2	0.2						
5. 北海道事業所				計画的処理完了期限				事業終了準備期間		
変圧器類	台	4,088	39	31	8			688(H24)	・R5.1末時点における登録台数等をもとに処理対象量を算定。 ・今後掘り起こしが見込まれる量は含まない。	
コンデンサー類	台	66,189	3,306	2,796	510			7,748(H25)		
安定器及び汚染物等北海道事業エリア				計画的処理完了期限				事業終了準備期間		
東京事業エリア	トン	3,908	1,937	806	733	398				
合計	トン	7,643	2,436	1,150	850	436		1,343(R4)		
安定器(缶重量なし)	トン	6,996	(2,216)	(1,046)	(773)	(397)				
安定器(個数)	千個	2,499	(791)	(374)	(276)	(142)				

(注)

○各事業所の処理計画は、事業部会、監視会議等で提示した処理計画等の値を記載している。

○なお、処理対象台数は計画策定後の新規登録等により変化しうる。また、令和4年度の処理計画値は計画策定時のものであり、実績とは必ずしも一致しない。

○安定器及び汚染物等について、北九州の計画値は缶重量を含む。北海道の計画値は缶重量を含まない。

○計画値のうち、北九州の安定器(缶重量なし)の値は安定器の計画値に0.92を乗じて算出。北海道の安定器(缶重量なし)の値は安定器・汚染物等の計画値に令和4年度までの安定器・汚染物等の処理実績のうち安定器の割合(約0.91)を乗じて算出。安定器(個数)の値は、安定器1台当たりの平均重量2.8kg/個を除いて算出。いずれもJESCOにおける推計(かっこ書きにて記載)。

○R3年度までの処理量については、試運転によるものを除いている。

○項目欄の☆は処理基本計画変更を踏まえ、北九州事業エリアの変圧器、コンデンサー等の処理を行うことを表している。

○過去の実績最大値については、各年度の処理実績のうち最大の値を示している(括弧内は最大となった年度)。